

年祭前墓前祭

久保山なるこれの所を千代の納めどころと　その古い衣を脱がれました天理教〇〇分教会〇代会長故△△△△△大人の御墓の御前に慎んで申し上げます

汝大人が大東亜戦争下の昭和十九年〇月〇日　丸々六十歳でゆくりなくも　この現世を出直され親神様の温かいふところにお帰り下されてより早くも五十年の歳月が流れ去りました

この後十二時半より改めてお鎮まり頂きました新神殿の祖霊様の御前で　汝大人の遺されたご家族はもとよりご親戚　道の子供たち一同と共に五十年祭を執り行いありし日の面影を偲び　昔話にとりどりの花を咲かせたいと存じます

教祖を通してお伝え下さいました御教によれば　汝大人は最早や新しい衣をつけて　この世で生き／＼と勇んでお暮らし頂いている事と拝察致しますが　神ならぬ身の私たち人間に詳しく判る術はなく　徒らに生前中のあの日あの時　幾山坂を越えられた道すがらを思い浮べ　汝大人の人柄を讃えると共に　その偉業と遺志を改めて深く広く大きく受け継ぐ固い決意を定めさせて頂きます墓前に心より御供申しました汝大人の好物を　心よく味わい下さいまして　私たち一同の行く手を　親神様教祖を通して温かく御見守り下され　お導き下さいますよう　これのところからも慎んでお願い申し上げます